

## 2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東武鉄道株式会社
---------	----------

本年度整備費	7,800 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホーム柵（可動式）	5 駅	10 番線	小菅、梅島、草加（急行線）、蒲生、越谷（急行線）
ホーム柵（固定式）	6 駅	12 番線	豊春、江戸川台、増尾、逆井、六実、塚田
エレベーター	1 駅	3 基	朝霞台（南口、上り・下りホームエレベーターは供用開始）
エスカレーター	- 駅	- 基	
内方線付点状ブロック	16 駅	34 番線	小村井、大師前、大宮、江戸川台、増尾、逆井、北池袋、下板橋、朝霞台、つきのわ、小川町、川角他
段差隙間縮小に資する設備	7 駅	15 番線	北千住(5,6,7番線)、和光市(1,4番線)、小菅、梅島他
バリアフリートイレ	2 駅	2 ヶ所	北大宮、朝霞台
運行情報提供設備 （発車案内表示器）	9 駅	9 ヶ所	藤の牛島、寄居、一本松、川角他
その他	備考欄参照	駅	
備考	誘導ブロック:27駅(越谷、鎌ヶ谷、下板橋他)、音響案内装置:6駅(鐘ヶ淵、小村井、みずほ台他)等		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホーム柵（可動式）設置番線数・段差解消駅数		
ホーム柵（可動式）設置番線数	10	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	- 駅
	二経路以上確保駅	- 駅

本年度徴収額	6,268 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	2,918	3,350	-
備考			

本年度までの累計整備費	17,863 百万円
本年度までの累計徴収額	12,259 百万円

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	13 駅	34 番線	西新井 (緩行線・急行線) (継続)、東武練馬 (継)、下赤塚 (継)、成増 (継) 他	3,711 百万円
ホーム柵 (固定式)	11 駅	22 番線	豊春 (新)、南桜井 (新)、増尾 (新)、逆井 (継) 他	1,492 百万円
エレベーター	1 駅	4 基	朝霞台 (継)	273 百万円
エスカレーター※2	0 駅	0 基		0 百万円
内方線付点状ブロック	16 駅	34 番線	小村井 (新)、大師前 (新)、江戸川台 (新)、つきのわ (新)、小川町 (新) 他	392 百万円
段差隙間縮小に資する設備	7 駅	15 番線	北千住 (5,6,7番線) (新)、和光市 (1,4番線) (新)、梅島 (新) 他	16 百万円
バリアフリートイレ	2 駅	2 ヶ所	北大宮 (新)、朝霞台 (新)	20 百万円
運行情報提供設備 (発車案内表示器)	9 駅	9 ヶ所	藤の牛島 (新)、一本松 (新)、西大家 (新)、川角 (新) 他	30 百万円
その他 ※3	備考欄参照 駅			91 百万円
備考	※2 音響案内装置新設含む ※3 誘導ブロック:27駅 音響案内装置6駅 等			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	- 駅	- 番線		- 百万円
エレベーター	83 駅	167 基	東向島、北千住、板倉東洋大前、新鎌ヶ谷、鶴瀬他	167 百万円
エスカレーター	34 駅	99 基	越谷、武里、流山おおたかの森、朝霞台、北坂戸他	312 百万円
車両	- 編成	- 両	-	- 百万円
その他 ※4	備考欄参照 駅			708 百万円
備考	※4 運行情報表示器 (発車案内表示器):25駅 トイレリニューアル:7カ所 二段手摺化・段鼻の改修:9駅 非常通報装置:40駅 等			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費				569 百万円※5
収受システム改修費				- 百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				19 百万円
備考	※5 ホーム柵 (可動式)・エレベーター・エスカレーターのメンテナンス 等			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

ホーム柵（可動式）設置番線数  
・段差解消駅数の進捗状況と整備計画

(様式2-3)

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホーム柵（可動式）設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2023年度	8番線	26%	1駅	50%	1駅	100%
2024年度	10番線	60%	0駅	50%	1駅	100%
2025年度	12番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	30番線	100%	2駅	100%	2駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

ホーム柵（可動式）設置番線数  
・段差解消駅数の整備計画

(様式2-4)

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2035年度までの計画）

年度	ホーム柵（可動式）設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	91番線	100%	-駅	-%	-駅	-%
2027年度						
2028年度						
2029年度						
2030年度						
2031年度						
2032年度						
2033年度						
2034年度						
2035年度						
累計	91番線	100%	-駅	-%	-駅	-%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

## ホーム柵（可動式）整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
-	-	-	- 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。